

## 環境 NEWS (第34回)



全日本サーフカスティング連盟本部 環境部

環境ニュースでは、海に流出したプラスチックゴミが生物に絡まったり、劣化してマイクロプラスチック(5 mm未満のもの)となり海鳥や海の生物が誤食したりする「海洋プラスチック問題」を何度か取り上げてきました。そのプラスチックに変化があるようです。

それは、日本発の研究となる植物由来の新素材で、海水に溶けるプラスチックの開発です。

2024年11月に発表されました、理化学研究所と東京大学の共同研究による、海水中で原料まで分解できる超分子プラスチック<代謝もされ、持続可能な未来に向けた画期的な材料開発>だそうです。

詳細については著作権の関係でここでの掲載は控えますが、ご興味のある方は下記アドレスでご覧になってください。

[https://www.riken.jp/press/2024/20241122\\_1/index.html](https://www.riken.jp/press/2024/20241122_1/index.html)

でも、既にあるマイクロプラスチックと、当面はどうするのか。これが大きな問題ですね。



(写真提供：環境省)

